M-AUDIO

Studiophile DX4

ユーザーズ・マニュアル

はじめに

Studiophile　DX4デスクトップオーディオモニターをご購入頂き有り難うございます。世界中のレコーディングスタジオで使われているM-Audioのスタジオモニターは、正確なミックスを求めるエンジニアやプロデューサーたちに高く評価されています。Studiophile　DX4はプロフェッショナルなオーディオ品質をデスクトップで実現する最新テクノロジー搭載のスタジオモニターです。

Studiophile DX4はデスクトップのオーディオのモニタリング環境で要求される条件を満たすべく、多くのオーディオ技術者によってテスト/設計されています。特に機能面(純粋で、限りなく原音に近い音の再生)に重点をおいて設計されました。Studiophile DX4は、外部のアンプを必要とせず様々な音源からラインレベルの音声信号をサポートします。

Studiophile DX4はカスタムデザインのキャビネットに高度なクロスオーバー技術を採用し、アンプ内蔵で原音に最も忠実な音を再生するよう設計されており、このサイズのスタジオモニターでは最高の音質を提供します。また、M-Audioの登録商標であるOptImageウェーブガイドテクノロジーにより、更に臨場感のあるステレオサウンドを実現します。Studiophile　DX4では、コンピューターベースの音楽、ゲーム、DVDなどを最高の音質で堪能することができます。

製品パッケージ内容

Studiophile DX4の同梱物:

- DX4スピーカー２台(左/右)
- スピーカーワイヤーケーブル　1本
- RCAピンケーブル用の1/8インチのミニジャック1本
- 取り外し可能な電源ケーブル1本
- ユーザーズマニュアル
- DX4のテストレポート

Studiophile DX4の特長

1. ウーファー:ウーファーは、防磁型の直径４インチのユニットでカーブドコーン、耐熱型ボイスコイルやクローズドセルフォームダンピングを使用しバランスの良い中低域を再生できるよう設計されています。また、入力信号に対して正確に反応し歪みを最小限に抑えて再生することができます。

2. ツイーター:防磁型の特別に開発された1インチのマイラードームを使用することで、歪みのない原音に忠実な音を再現することができます。再生に優れた特別設計のマイラードームを使用することによって反応の遅れを最小限に短縮し独自の内部ダンピング技術によって共振をほとんどなくすことに成功しました。また、ツイーターにはステレオイメージを改良するOptImageウェーブガイド技術が組み込まれています。

3. サブフリクェンシーポート:リアパネルに設けられた穴は、サブフリクェンシーポートと呼ばれ重低音を再生するように設計されています。

4. エンクロージャー：エンクロージャーは、他のパーツ同様とても重要な役割を果たしています。DX4のエンクロージャーは、どんな使用条件の下でもエンクロージャー内部からの衝撃に耐えられるよう設計されています。素材には高密度のMDFを使用し独自の方法で内部を強化して安定した性能を発揮します。

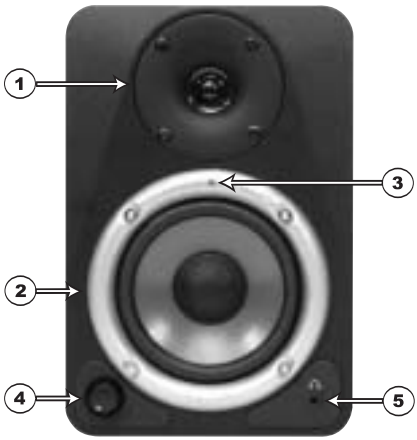
5. ネットワークとパワーアンプ部：DX4のアクティブバランス、クロスオーバーネットワークやパワーアンプ電力は、ツイーターとウーファー専用の設計となっています。ネットワークは、無駄なサウンドや歪みを取り除くために適切にパーツを低/中/高域に振り分け自然でバランスが取れたサウンドを実現します。

6. 中域のブーストコントロール：リアパネルの「中域のブーストコントロール」7.は、ルームEQを補正し、様々なスペースで最適なサウンドを得るためのコントロールを提供します。

フロントとリアパネルの特長

フロント

注意: このイメージはレフトスピーカーのフロントパネルを示します。レフトスピーカーには、LFドライバとHFドライバ(ウーファーとツイーター)・LED電源・音量調節・ヘッドフォン出力端子を含み、ライトスピーカーには、LFドライバとHFドライバ(ウーファーとツイーター)のみを備えています。



1. HFドライバ(ツイーター)

2. LFドライバ(ウーファー)

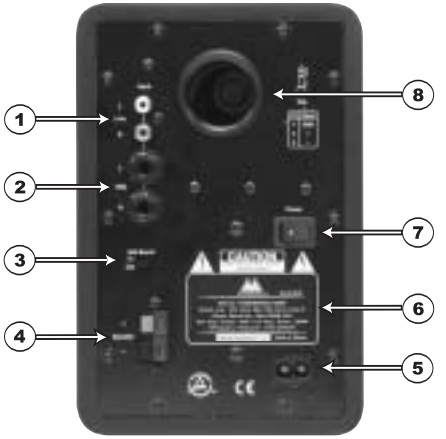
3. パワーインジケータLED：DX4の電源を入れた場合に青色LEDが点灯します。

4. 音量調節：DX4スピーカーの出力ボリュームレベルを調整します。

5. ヘッドフォン出力端子: この1/8ミニ端子は、DX4のスピーカー出力と同じステレオ信号を出力します。ヘッドフォンがこの端子に差し込まれると、DX4スピーカーのサウンドはミュート(消音)されヘッドフォンの音量は音量調節によりコントロールできます。

リアパネル

注意: このイメージは、レフトスピーカーのリアパネルを示します。ライトスピーカーのリアパネルには、スピーカー出力1系統のみが装備され、レフトスピーカーに接続するためのケーブルを接続します。



1. RCAライン入力(L&R) - 以下のRCAライン入力端子が2系統あります:

   - 「L」・ -左チャンネル入力(白色端子)
   - 「R」・ -右チャンネル入力(赤色端子)

これらの端子は、RCAアンバランスケーブルを接続します。また、同梱の1/8ミニ端子RCA変換ケーブルを使用して1/8ミニ端子出力を装備した他の機器とDX4を接続することができます。

2. 1/4ライン入力(L&R) - 以下の1/4ライン入力端子が2系統あります:

   - 「L」・ -左チャンネル入力
   - 「R」・ -右チャンネル入力

   これらの端子は、1/4バランスやアンバランスケーブルを接続します。

   1/4ライン入力端子は、2導体(アンバランス/TS)か3導体(バランス/TRS)ケーブルを接続できます。2導体のプラグでは、マイナス信号の入力を自動的にアースしますが、3導体のプラグでアンバランス結線した場合は、マイナスを開けておくかアースするかを選択することができます。

TRS入力端子の入力配線は以下の通りです:

- TIP正信号 (+)
- RING負信号 (–)
- SLEEVE信号接地 (シールド)

注意: TRS/TS入力とRCA入力からの入力信号はミックスされます。

3. 中域のブーストセレクタスイッチ: このスイッチは、中域のブーストモード設定を選択します。このスイッチを「In」に設定すると中域を強調(ブースト)することができます。このスイッチを「Out」にすると中域の周波数特性がフラットになります。

4. スピーカー端子: スピーカーのリアパネルには、スプリングアクションスピーカー端子が装備されています。同梱のスピーカーワイヤーケーブルで、左のスピーカーと右のスピーカーを接続します。

5. 電源コネクタ: DX4を動作させるためには付属の2回路ラインコードを接続しコンセントと接続します。

6. 製品ラベル: DX4のモデルとシリアル番号がプリントされています。

7. 電源スイッチ:このスイッチによりDX4の電源をON/OFFできます。白い点の側を押すとONになります。

8. サブフリクェンシーポート: このポートは60Hz未満の周波数を再生します。

インストール

DX4を最適に使用するには、設置前に以下の説明書を注意して読んで下さい。

注意

取り扱い;DX4は、箱の中にしっかり梱包されているので取り外しに注意して下さい。スピーカーを損傷させないようにユニット(左右)の両側を持って下さい。損傷を避けるため箱から取り出してもコーン(ウーファーとツイーター)に触れないで下さい。

接続:DX4のRCAやTRS入力に対応するコンピュータのサウンドカードやゲーム出力等に接続して下さい。接続には高品質なケーブルの使用を推奨します。DX4の電源がOFFであることを確認して音量を最小にして下さい。

コンセントに接続:同梱の電源ケーブルを使用してコンセントに接続する必要があります。電源を接続する前に、DX4の電圧がコンセントの電圧に対応している事を確認して下さい。

警告!　-不適切な電圧での使用は危険です。スピーカー部品の損傷を引き起こす事があります。この場合には、保証の対象になりません。

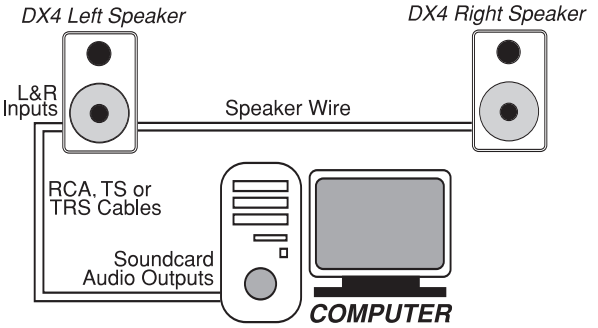
スピーカーワイヤー接続

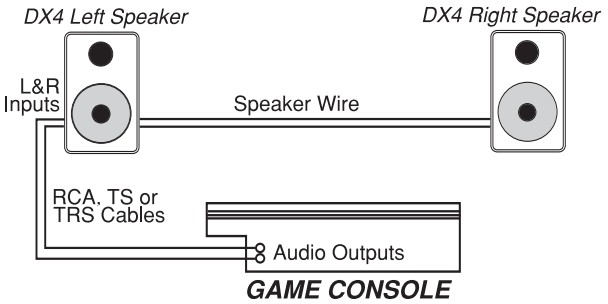
DX4パッケージに同梱のスピーカーワイヤーケーブルを使って、左右のスピーカーを接続して下さい。

コンピュータのサウンドカードやゲーム機器への接続

DX4を接続する前にDX4の電源がOFFで、カードやゲーム機器の電源もOFFになっている事を確認して下さい。

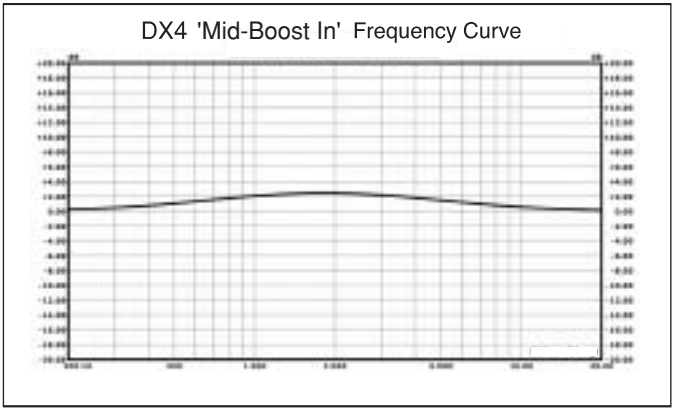
RCAやTRS/TSケーブルを使って、コンピュータのサウンドカードやゲーム機器の出力端子とDX4と接続して下さい。





中域のブーストEQスイッチの設定

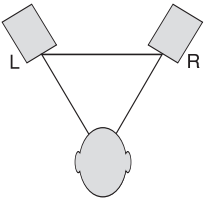
このスイッチは、中域のブーストモードのIn/Outを切替えます。このスイッチを「In」に設定すると中域を強調（ブースト）することができます。このスイッチを「Out」にすると周波数特性がフラットになり、通常のリスニングやモニタリングに適しています。



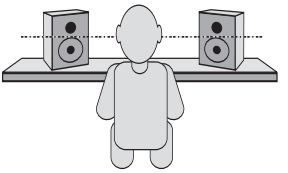
DX4の設置

スピーカーの配置は、サウンドを正確にモニターする上で、もっとも大切なことの1つです。DX4の性能を最大限に発揮してモニターするには、適切なリスニングの環境に、スピーカーを適切に配置する必要があります。以下の項をよくお読みの上、DX4を正しい位置に配置して下さい。

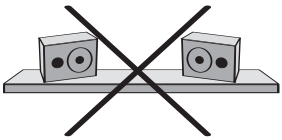
1. 基本的に、2台のスピーカーとリスナーが正三角形の位置関係になるように配置します。以下の図を参照して下さい：



2. 次の図を参考に、ユニットの高さ（正確にはウーファーの最上部）が、リスナーの耳の位置になるように、高さを調整して下さい：



3. スピーカーは縦に立てて配置して下さい。横向きに配置するようにデザインされていません。



重要：スピーカーとスピーカーの間、またはユニットの前に、障害物を置かないで下さい。空気の流れ（音の媒体）を妨げてしまいます。ガラス/鏡/金属など反射率の高いものが障害物として置かれていると、反射音を生じてしまいます。このような障害物は、音の通り道から離しておいて下さい。

保証規定

本製品の操作または使用、関連文書に含まれている操作方法によって生じた付随的または間接的な障害について、株式会社エムオーディオジャパンは一切責任を負わないものとします。適切な方法で安全にご使用されている場合は、本製品をお買い上げいただいた日より一年間は保障期間となり修理は無償で行います。しかしながら不適切な使用方法による損傷や、保証書に購入店での手続きが無い場合には製品保証は無効になります。日本国内保証書は、必ずお求めになった販売店で所定の手続きを行った後、大切に保管して下さい。特定の製品に適用される制限条項に関してはwww.m-audio.com/warrantyをご覧ください。

保証登録

M-Audio製品の保証、技術的な日本語サポートをエムオーディオジャパンで受けるためには、ユーザー登録が完了されている必要があります。ユーザー登録が未完了の場合には一切の保証、サポートを受けることができません。M-Audioの製品のユーザー登録には、オンラインでのユーザー登録(http://www.m-audio.com/register)、または、同梱のユーザー登録ハガキに必要事項をご記入になりエムオーディオジャパンまで返信して頂くようお願い致します。尚、ユーザー登録完了のご案内は行っておりませんのでご了承ください。

送付先

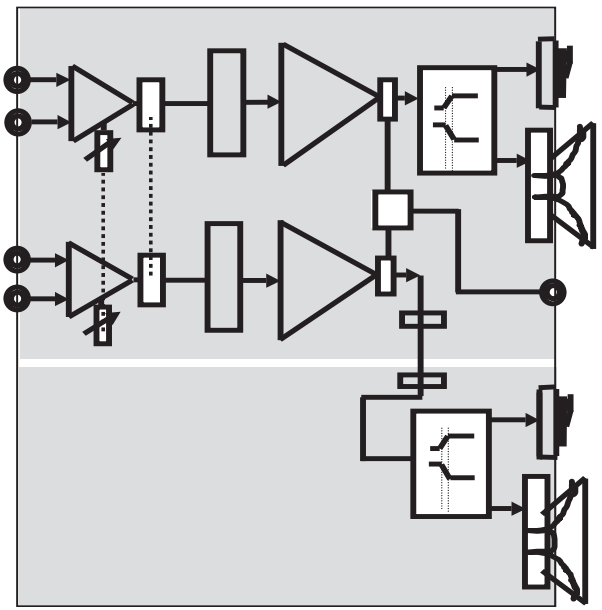
〒460-0002
住所　：愛知県名古屋市中区丸の内2-18-10
電話　：052-218-0859
社名　：株式会社エムオーディオジャパン
担当部署　：カスタマーサポート

付録A-技術仕様書

- 型式：2ウェイスタジオリファレンス
- LFドライバ：直径4インチの防磁型、カーブドコーン、防熱型ボイスコイルおよびダンプトクローズドセルフォーム装備
- HFドライバ：直径1インチ防磁型マイラードーム
- 周波数特性：70Hz～20kHz
- クロスオーバー周波数：2.2kHz
- RMS SPL：101.5dB @ 1メートル
- ダイナミックレンジ：95dB以上
- S/N比：90dB以上
- 入力端子：RCAライン入力・1/4バランス/アンバランス入力。
- 極性：＋入力時、正の信号でLFドライバを外側へ駆動
- ダイナミックパワー：接続した2つのチャンネルを持つ18W/4Ω
- 入力インピーダンス：20kΩ(バランス)・10kΩ（アンバランス）
- 入力感度：90dBA（100mV、1m）
- 保護機能：RF干渉・出力電流制限・過熱保護・電源ON/OFF過渡保護・サブソニックフィルタ
- インジケータ：フロントパネルの青　電源LED
- 電源条件： 120V/60Hz・230V/50Hz または取り外し可能な2回路ケーブル100V/50Hz～60Hz
- キャビネット：ビニールでラミネートされたMDF
- 寸法：21.6 cm(高さ)x14.6 cm(幅)x15.9 cm(奥行)
- 重量：一組あたり5.5kg(外装箱除く)

* 上記の仕様書は予告なく変更になる場合があります

付録B - ブロック図



IMPORTANT SAFETY INSTRUCTION

1. READ INSTRUCTIONS

All the safety and operating instructions should be read before the appliance is operated.

2. RETAIN INSTRUCTIONS

The safety and operating instructions should be retained for future reference.

3. HEED WARNINGS

All warnings on the appliance and in the operating instructions should be adhered to.

4. FOLLOW INSTRUCTIONS

All operating and use instructions should be followed.

5. WATER AND MOISTURE

The appliance should not be used near water - for example, near a bathtub, washbowl, kitchen sink, laundry tub, in a wet basement, or near a swimming pool, etc.

6. CARTS AND STANDS

The appliance should be used only with a cart or stand that is recommended by themanufacturer.

6A. An appliance and cart combination should be movedwithcare. Quickstops, excessive force, anduneven surfaces may cause the appliance andcart combination to overturn.

7. WALL OR CEILING MOUNTING

This equipment is not designed for use mounted on a wall or a ceiling.

8. VENTILATION

The appliance should be situated so that its location or position does not interfere with its proper ventilation. For example, the appliance should not be situated on a bed, sofa, rug, or similar surface that may block the ventilation openings, or placed in a built-in installation, such as bookcase or cabinet that may impede the flow of air through the ventilation openings.

At least 30cm free space around the unit for normal ventilation is required.

9. HEAT

Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.

10. CLEANING

The appliance should be cleaned only with dry cloth.

11. POWER SOURCES

The appliance should be connected to a power supply only of the type described in the operating instructions or as marked on the appliance.

12. POWER CORD PROTECTION

Power-supply cords should be routed so that they are not likely to be walked on or pinched by items placed upon or against them, paying particular attention to cords at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the appliance

13. POLARIZED PLUG

Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. When the provided plug does not fit into your outlet. consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.

14. UNPLUG POWER CORD

Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.

15. OBJECT AND LIQUID ENTRY

No object filled with liquids, such as vases, etc. shall be placed on the apparatus.

16. ACCESSORIES

Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.

17. SERVICING

The user should not attempt to service the appliance beyond that described in the operating instructions. All other servicing should be referred to qualified service personnel.

18. DAMAGE REQUIRING SERVICE

The appliance should be serviced by qualified service personnel when:

a) The power-supply cord or the plug has been damaged; or
b) Objects have fallen, or liquid has been spilled into the appliance; or
c) The appliance has been exposed to rain; or
d) The appliance does not appear to operate normally or exhibits a marked change in performance; or
e) The appliance has been dropped, or the enclosure is damaged.